

薬剤部

薬剤部長 小原 義巳

〔平成30年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の課題に対する目標
適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。

1 業務体制

(1) 業務内容

| | |
|-----------|---|
| ○調剤室業務 | 外来・入院調剤、院外処方箋監査・発行、 外来・入院癌化学療法調製、注射箋調剤 |
| ○倉庫室業務 | 注射・外用薬定時払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋用薬剤払出 |
| ○製剤室業務 | T P N調製、院内製剤調製 |
| ○医薬品管理業務 | 麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、 一般薬管理、マスタ管理業務 |
| ○夜間救急診療業務 | 採用医薬品管理 |
| ○D I業務 | 医薬品情報の管理・提供、副作用の報告 |
| ○病棟業務 | 病棟薬品管理、服薬指導、病棟薬剤業務 |
| ○外来業務 | 医薬品管理、外来患者服薬指導 |
| ○研修対応業務 | 院内研修会、院外研修会 |
| ○委員会業務 | 薬事委員会、治験審査委員会、化学療法委員会 |
| ○事務業務 | 庶務 |

(2) 業務スタッフ

常勤薬剤師 16名，非常勤薬剤師 5名，非常勤助手 3名

2 業務実績

① 薬剤管理指導（表1）

| | 合計 | 3 F | 4 F | 5 F | 6 F | 7 F | ICU | GCU | NICU |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|------|
| 平成28年度 | 9,951 | 1,961 | 1,789 | 2,148 | 1,876 | 1,590 | 383 | 189 | 15 |
| 平成29年度 | 10,797 | 2,188 | 1,850 | 1,967 | 1,849 | 2,007 | 340 | 230 | 366 |
| 平成30年度 | 11,696 | 2,728 | 1,956 | 1,901 | 2,125 | 1,863 | 258 | 299 | 566 |

② 院外処方箋発行率（表 2）

| | 発行率 | 合 計 | 院 外 | 院 内 |
|----------|-------|--------|--------|-------|
| 平成 28 年度 | 95.5% | 46,884 | 43,127 | 2,115 |
| 平成 29 年度 | 95.9% | 46,074 | 44,169 | 1,905 |
| 平成 30 年度 | 96.2% | 47,125 | 45,323 | 1,802 |

③ TPN、外来・入院化学療法の無菌調製（表 3）

| | TPN 調製件数 | 癌化学療法注射箋件数 |
|----------|----------|------------|
| 平成 28 年度 | 44 | 1,666 |
| 平成 29 年度 | 18 | 1,543 |
| 平成 30 年度 | 121 | 1,486 |

④ 病棟薬剤業務実施加算（表 4）

| | 合 計 | 3 F | 4 F | 5 F | 6 F | 7 F | ICU | GCU | NICU |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|------|
| 平成 28 年度 | 12,884 | 2,796 | 1,921 | 2,208 | 2,251 | 1,815 | 607 | 429 | 857 |
| 平成 29 年度 | 13,455 | 3,045 | 2,004 | 2,389 | 2,430 | 1,709 | 552 | 385 | 941 |
| 平成 30 年度 | 13,438 | 2,862 | 2,069 | 2,389 | 2,617 | 1,580 | 319 | 666 | 936 |

3 1年間の経過と今後の目標

薬剤管理指導については、表 1 のとおり、平成 28 年度 9,951 件、平成 29 年度 10,797 件、平成 30 年度 11,696 件であった。平成 28 年度から平成 29 年度は約 8.5%の増加であった。平成 30 年度は約 8.3%の増加にとどまったが、月平均は約 970 件となった。

院外処方箋発行率は、表 2 のとおり、平成 28 年度から平成 29 年度は 0.4 ポイントの増加であったが、平成 30 年度は更に 0.3 ポイント増加し 96.2%になった。

TPN や入院・外来癌化学療法の無菌調製については、表 3 のとおりだった。TPN 調製は、平成 30 年度 121 件と昨年度 18 件から大幅に増加した。癌化学療法の無菌調製件数は、平成 29 年度では外来 1287 件・入院 256 件であったが、平成 30 年度では外来 1271 件・入院 215 件となった。外来件数は 16 件の減、入院件数は 41 件の減、全体として 57 件の減少となった。

平成 30 年度は、病棟業務の担当者のバックアップ体制を見直した結果、病棟業務の向上に繋がった。そのため、服薬指導件数が昨年を上回ることが出来た。外来では手術前薬確認業務の対象患者を外科から消化器内科と循環器内科へも拡大した。後発医薬品は、425 品目になり後発医薬品指数も目標である 88.2%を超えている。薬薬連携に関しては当院主催で近隣の調剤薬局の薬剤師向けに抗がん剤の説明会を行った。

今後の目標としては、適正な人員・業務配置を行うことにより各業務の効率化を図り、病棟活動の更なる充実と、外来活動では入院前指導や薬薬連携等の拡大に取り組みたい。更に個人のレベルアップを図り、質の高い介入を目指し、患者の気持ちに寄り添い安心して信頼される薬剤業務を遂行していきたい。

〈資格修得〉

| | |
|----------------------------|----|
| がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 1名 |
| 感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 1名 |
| 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 1名 |
| 認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター） | 5名 |
| 栄養サポートチーム専門療法士（日本静脈経腸栄養学会） | 2名 |
| 研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター） | 8名 |
| 生涯研修履修認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 1名 |
| 生涯研修認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 5名 |
| 日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会） | 6名 |
| 日本DMAT隊員 | 1名 |
| スポーツファーマシスト | 1名 |
| 千葉県糖尿病療養指導士 | 1名 |
| 千葉県災害時支援薬剤師 | 1名 |